

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 4 年 7 月 1 日(2022.7.1)

【公開番号】特開 2021-356(P2021-356A)

【公開日】令和 3 年 1 月 7 日(2021.1.7)

【年通号数】公開・登録公報 2021-001

【出願番号】特願 2019-116451(P2019-116451)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 6 月 22 日(2022.6.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技者に有利な特別遊技状態にするかの判定を行う判定手段と、
所定の演出を実行可能な演出実行手段と、を有する遊技機であって、
前記演出実行手段は、
前記判定手段による前記判定の結果に基づいて、前記特別遊技状態になることを示唆可能な所定の予告演出と、
所定の特定段階に向けて特定表示を変化させる特定演出と、を実行可能であり、
前記予告演出を、前記特定演出にて前記特定表示が前記特定段階まで変化した際に実行可能であり、
前記特定演出にて前記特定表示が示す段階を、所定の変更態様で変更する変更演出を実行することがあることを特徴とする遊技機。

30

【請求項 2】

請求項 1 に記載の遊技機であって、
前記演出実行手段は、前記変更演出として、第 1 の変更態様で前記特定表示が示す段階を変更する第 1 の変更演出と、第 2 の変更態様で前記特定表示が示す段階を変更する第 2 の変更演出と、を実行可能であることを特徴とする遊技機。

【請求項 3】

請求項 2 に記載の遊技機であって、
前記演出実行手段は、前記第 1 の変更演出のときよりも、前記第 2 の変更演出のときの方が、前記特定表示が示す段階を前記特定段階から遠い段階に変更しやすいことを特徴とする遊技機。

40

【請求項 4】

請求項 3 に記載の遊技機であって、
前記特定表示が示す段階が第 1 の段階であるときと比べて、前記第 1 の段階よりも前記特定段階から遠い第 2 の段階であるときの方が、前記特別遊技状態になりやすいことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

50

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 5 】

本発明の遊技機は、
遊技者に有利な特別遊技状態にするかの判定を行う判定手段と、
所定の演出を実行可能な演出実行手段と、を有する遊技機であって、
前記演出実行手段は、
前記判定手段による前記判定の結果に基づいて、前記特別遊技状態になることを示唆可能な所定の予告演出と、
所定の特定段階に向けて特定表示を変化させる特定演出と、を実行可能であり、
前記予告演出を、前記特定演出にて前記特定表示が前記特定段階に到達した際に実行可能であり、
前記特定演出にて前記特定表示が示す段階を、所定の変更態様で変更する変更演出を実行することがあることを特徴とする。

10

20

30

40

50